

■ 市政戦略編の見方

戦略1 来る
チャ

【まちの状態を表す指標】は戦略を実施する背景にある課題の状態であり、重点事業に位置づける施策実施による成果を測定する指標とは区別しています。

小牧市の誇る子育て支援が充実している要素を高く評価するとともに、未来社会を見据えて、さらに高い地域の姿として「子どもの夢を育み、夢へのチャレンジをみんなで応援するまち」「子どもを中心にすべての世代がつながっているまち」、そして、「すべての世代が暮らしやすい、あたたかい支え合いのまち」を目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
将来の夢や目標を持っている子どもの割合	79.1%	↗
安心して子育てができるまちだと思う保護者の割合	82.5%	↗

<重点事業1-1 すべての子ども達が夢を育み挑戦できる環境の整備>

指標名	基準値	目標値(R4年度)
コマキッズドリームプロジェクトに参加した子どもの数	6,922人	10,000人

＜重
子
談
子

基準値	原則として平成30年度実績値、それ以外の場合は()書きで基準時点を示しています。 基準値を把握していない指標は「—」としています。
目指す方向	「↑」は「上昇、増加」、「↓」は「低減、減少、削減」を示しています。
目標値(R4年度)	令和4年度における目標値を設定しています。 目標値を今後設定する指標は「—」としています。

**戦略1 来るべき未来社会を見据えて、すべての子ども達が夢を育み
チャレンジできる環境を創出**

小牧市の誇る「子育て支援が充実している」姿を一層高めるとともに、未来社会を見据えて、さらに高い地域の姿として「子どもの夢を育み、夢へのチャレンジをみんなで応援するまち」「子どもを中心にすべての世代がつながっているまち」、そして、「すべての世代が暮らしやすい、あたたかい支え合いのまち」を目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
将来の夢や目標を持っている子どもの割合	79.1%	↗
安心して子育てができるまちだと思う保護者の割合	82.6%	↗

<重点事業1-1 すべての子ども達が夢を育み挑戦できる環境の整備>

指標名	基準値	目標値(R4年度)
コマキッズドリームプロジェクトに参加した子どもの数	6,922人	10,000人

<重点事業1-2 すべての子育て家庭への支援>

指標名	基準値	目標値(R4年度)
子育て世代包括支援センターや各児童館での相談件数	6,320件	7,000件
子育てについて相談できる人がいる保護者の割合	96.9%	100%

<重点事業1-3 Society5.0を見据えた教育の推進>

指標名	基準値	目標値(R4年度)
タブレットPCを活用した授業はわかりやすいと感じている児童生徒の割合	—	85.0%

こども夢・チャレンジ推進事業

こども未来部 こども政策課

1 予 算 額 23,394千円

2 目的及び効果 「こども夢・チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、世代を越えてつながるまちづくりを進めます。

3 事業概要

○夢にチャレンジ助成金支給事業 1,979千円

自分の夢を実現するための計画を募集し、チャレンジしたい内容をプレゼンしてもらい、優秀者に助成金を支給します。

【対 象】16歳以上25歳以下の個人、団体。高校・大学等に在籍している方。本人もしくは、保護者が1年以上住民登録等。

【助成額】上限30万円

【チャレンジ内容の例】海外語学研修、体験研修、ボランティア、インターンシップなど

○大学生等海外留学奨学金支給事業 3,743千円

海外の大学に、3ヶ月以上留学しようとする大学生等に奨学金を支給します。

【対 象】25歳以下。国内の大学等に在学し、語学力が基準を満たす者。本人もしくは、保護者が1年以上住民登録等。

【助成額】留学先の国・地域に応じて、12ヶ月を上限として、月額3～5万円を支給。



○学習支援事業「駒来塾」 4,772千円

経済的理由により学習塾に通えない、家庭環境により家で学習する機会がないなど、学習意欲があっても学力の定着が進んでいない中学生を対象に、教員OBや教員を志望する大学生など地域の協力を得て、一定レベルの学力が定着できるよう学習支援を実施します。

【対象】 中学1・2・3年生（学習塾に通っていないこと）

【教室】 東部地区（篠岡中・桃陵中・光ヶ丘中）

北里地区（北里中・小牧西中）

味岡地区（味岡中・岩崎中）

小牧地区（小牧中・応時中）

【開催日】 毎週木曜日 午後6時30分～8時

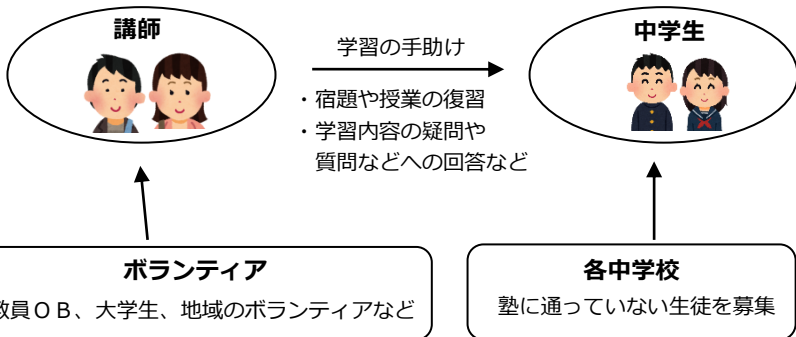
【実施場所】 東部市民センター、北里市民センター、

味岡市民センター、ふれあいセンター

【参加費】 無料

※駒来塾のイメージ

基礎学力の定着をめざして学習支援活動を実施します。



○ひとり親家庭等支援事業 12,900千円

ひとり親家庭等のこどもが大学等に進学しやすい環境をつくり、また親子の学び直しを支援することで、より良い条件での就職や転職に向けた可能性を広げ、安定した雇用につなげていきます。

※ひとり親家庭等支援事業のイメージ

ひとり親家庭等支援事業

**ひとり親家庭等入学支援金
給付事業**

ひとり親家庭等のこどもが大学等に入学する際の準備に必要な費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ることで、進学しやすい環境をつくり、自立を支援します。



**ひとり親家庭高等学校卒業
程度認定試験合格支援事業**

高校を卒業していないひとり親家庭の父母や、20歳未満の児童を対象に、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指す講座受講料の一部を助成します。



拡充

子育て世代包括支援センター運営事業

こども未来部 こども政策課

(R2.4.1～ こども未来部 子育て世代包括支援センター)

1 予算額 175,496千円

2 目的及び効果 妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない子育て支援を行う「子育て世代包括支援センター」を運営することで、一層の子育て支援を推進します。

3 事業概要 子育て世代包括支援センターでは、利用者支援事業の基本型と母子保健型を一体で実施するほか、令和2年度からひとり親相談員の増員や、新たに児童虐待対応専門員を配置し、こども家庭総合支援拠点事業を開始し、こども・子育てに関する相談(妊娠、子育て、発達、ひとり親、児童虐待など)の受付や、子育て中の保護者のリフレッシュのため、一時的に乳幼児を預かるなどして、子育て世帯を支援します。

① 妊婦・産婦・乳児個別健康診査事業 130,360千円

妊婦と胎児、産婦と乳児の健康診査及び新生児聴覚検査の費用を助成することで、疾病の早期発見・早期治療を図るとともに健康意識を高め、よりよい出産・育児のスタートにつなげます。

- ・産婦健康診査事業
- ・新生児聴覚検査事業
- ・妊婦健康診査事業
- ・妊婦個別歯科健康診査事業
- ・乳児個別健康診査事業



② 母子保健型利用者支援事業 7,743千円

1)利用者支援事業 336千円

妊娠期から子育て期にわたる様々な相談に応じ、その状況を継続的に把握し、関係機関と協力してサポートプランの作成やサービスの調整などを行います。

2)セカンドブック事業 7,407千円

子育て世代包括支援センター及び市内各児童館において、1歳の誕生日の節目にサポートプランを見直して、育児相談や必要な情報提供等の支援を行い、保護者の育児不安を取り除きます。また、絵本をプレゼントすることで、読み聞かせを通して、親と子の愛着形成を促進し、親と子の自己肯定感を育みます。

③ 妊娠・出産包括支援事業 5,925千円

産後うつ対策として、産後に心身の不調又は育児不安があり、家族から支援が得られない産婦とその児を対象に、安心して子育てができるよう、産婦人科医療機関等において、心身のケア(母乳ケア含む)や育児のサポートを行います。

④ 産前産後ヘルパー派遣事業 1,450千円

妊娠中から産後6ヶ月(多胎の場合は12ヶ月)にかけて、夫や祖父母など周りからの子育て支援が見込めない家庭にヘルパーを派遣して家事支援を行います。

利用者負担:500円/時間

市町村民税非課税世帯、多胎児育児世帯は250円/時間

生活保護世帯は免除

⑤ 一時預かり事業 23,226千円

子育て中の保護者のリフレッシュのため、生後6か月から就学前の乳幼児を子育て世代包括支援センター内で4時間を限度に預かります。

利用者負担:700円/時間

多胎児育児世帯は350円/時間

生活保護世帯、市県民税非課税世帯は免除

⑥ 新規こども家庭総合支援拠点事業 6,792千円

児童虐待に対して迅速に対応できるよう、新たに児童虐待対応専門員を配置するほか、ひとり親相談員を増員し、体制の強化を図ります。

(仮称)こども未来館施設整備事業

こども未来部 こども政策課
(R24.1～ こども未来部 多世代交流プラザ準備室)

- 1 事業年度 令和元年度～2年度
(継続費[令和元・2年度]1,605,912千円)
- 2 予算額 1,337,993千円
- 3 目的及び効果 ラピオビルの空床となっている部分に(仮称)こども未来館として遊びや体験をとおして、こどもが主役となって活動する拠点を整備します。

4 事業概要

(仮称)こども未来館の開設に向けて整備を進めます。(令和2年9月上旬開設予定)

- ・(仮称)こども未来館整備工事監理委託料 11,488千円
- ・(仮称)こども未来館デジタルコンテンツ作成委託料126,000千円
- ・(仮称)こども未来館整備工事費 1,112,650千円
(工期:令和元年7月5日～令和2年7月3日)
- ・(仮称)こども未来館用備品購入費 84,000千円 など



ICT教育推進事業

教育委員会事務局 教育総務課
学校教育課

1 予算額 64,494千円

2 目的及び効果

ICT(情報通信技術)が広く利用されている社会に子どもたちが適応していくために、早くから情報活用能力を身につける必要があります。タブレット型PCなどのICT機器を一つのツールとして活用することにより、「分かりやすい授業」を実践します。情報を収集する力、情報を読み解く力、論理的・創造的に思考する力などを身に付けた「時代を切り拓く子ども」の育成を目指します。

令和元年度から、2小学校・2中学校(味岡小・大城小・味岡中・光ヶ丘中)をICT教育のモデル校とし、ICTを活用した「分かりやすい授業」の実践検証を行っています。

3 事業概要

○児童生徒用タブレット型PC・収納保管庫借上げ(モデル校)

モデル校に、3クラスに1クラス分程度のタブレット型PCを整備し、1人1台のタブレット型PCを使用できる学習環境で活用しています。

タブレット型PC台数(収納保管庫台数)

味岡小280台(8台)、大城小137台(6台)

味岡中290台(8台)、光ヶ丘中85台(3台)



○ICT活用支援委託(期間:令和元年度～)

令和2年度から、全小中学校を訪問してICT機器の操作に対する助言や活用事例の紹介等を行うICT支援員を増員し、ICT教育の推進を支援します。

戦略2 “健康・生きがいづくり”と“支え合いの地域づくり”の循環により、自分らしくいきいきと安心して暮らすことができる「活力ある高齢社会(小牧モデル)」を構築

すべての市民が健康で生きがいのある人生を生きつつ、市民同士が地域で互いに支え合い助け合う、「健康」と「支え合い」が循環するまちを目指します。

スポーツや生涯学習(社会教育)の充実を通じて、健康・生きがいづくりを支援するとともに、個人の学びを地域に還元し地域を支える担い手を育成し、市民活動・地域活動の充実を図ります。

そして、市民と行政などの協働による地域単位での防災訓練や防犯対策の充実などを通じて、災害に強く、犯罪の起こりにくい安全な地域づくりを進めるとともに、こまき巡回バスを含む高齢者の外出支援や見守りの充実に取り組みます。

さらに、医療・介護・福祉などの体制や連携の充実を図り、健康維持・介護予防活動などを強化し、地域における支え合い活動の充実とともに、年をとっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
生きがいを持って暮らしている65歳以上の市民の割合	82.9% (平成29年度)	↗
地域に貢献する活動をしている市民の割合 ※基準値は令和2年度に設定します。	—	↗

<重点事業2-1 (仮称)健康・支え合い循環都市宣言>

【事業の進捗状況を測定するための指標は設定しません。】

<重点事業2-2 市民の健康寿命の延伸>

指標名	基準値	目標値(R4年度)
週1回以上適度な運動をしている成人市民の割合	46.1%	65.0%
フレイル予防事業への参加者数	1,500人	3,700人
日頃から口腔ケアをしている市民の割合 ※基準値及び目標値は令和2年度に設定します。	—	—

＜重点事業2-3 生涯学習を通じた生きがいづくりと人材育成＞

指標名	基準値	目標値(R4年度)
生涯学習に関する講座の受講者数 ※基準値及び目標値は令和2年度に設定します。	—	—
(仮称)生涯学習・市民活動連携センターが関わった活動への参加者数 ※基準値及び目標値は令和2年度に設定します。	—	—

＜重点事業2-4 地域協議会を通じた地域活動の活性化＞

指標名	基準値	目標値(R4年度)
地域協議会が設立された数	8組織	16組織
福祉分野の活動をしている地域協議会の数	2組織	16組織

＜重点事業2-5 健康・支え合い活動の充実と地域内循環の促進＞

指標名	基準値	目標値(R4年度)
健康いきいきポイント還元者数	1,088人	2,000人
支え合いいきいきポイント還元者数	849人	2,000人
市内でプレミアム商品券が使える店舗数	569店	現状維持

支え合いいきいきポイント推進事業

市長公室 協働推進課(R2.4.1～健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課)
健康福祉部 介護保険課(R2.4.1～福祉部 介護保険課)

- 1 予算額 1,378千円(一般会計)
3,312千円(介護保険事業特別会計)
- 2 目的 介護施設やサロン等でのお手伝い、高齢者のちょっとした困りごと支援などを通じ、地域での支え合い・助け合い活動の促進や、高齢者の介護への理解を深めます。
また、活動に応じて、市内限定商品券と交換できるポイントを付与することで、活動に参加するきっかけづくりや、活動を続けていく励みになります。

3 事業概要

■介護施設ポイント

内 容	市が指定する介護施設等での補助的なお手伝い(イベント、清掃など)をした場合にポイントを付与
対象者	18歳以上の市民
特 徴	65歳以上の方は、ポイントの財源を介護保険料とすることにより、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	介護への理解を深めるとともに、やりがいを感じながら、健康づくりを促進



▲岩崎デイサービス



▲特別養護老人ホーム ゆうあい

■サロンポイント

内 容	サロン等の運営(参加者の受付、準備、片付け)に協力した場合にポイントを付与
対象者	18歳以上の市民
特 徴	65歳以上の方は、ポイントの財源を介護保険料とすることにより、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	サロン等の運営の協力者を募る仕組みをつくり、サロン活動を活性化



▲久保ふれあいいきいきサロン



▲生き生きサロン笑和

■地域ポイント

内 容	地域協議会が主体となって行う日常生活におけるちょっとした困りごと(庭の草取り、電球交換等)を支援した場合にポイントを付与
対象者	18歳以上の市民(地域協議会が設立されている小学校区の区域内に在住)
特 徴	65歳以上の方は、ポイントの財源を介護保険料とすることにより、実質的に介護保険料負担を軽減
ねらい	地域協議会の協力者を募る仕組みをつくり、地域の支え合い活動を支援



▲しのおかおたすけ隊「換気扇の清掃」



▲あじおかおたすけ隊「センサーライト取り付け」

地域協議会設立推進・活動支援事業

市長公室 協働推進課

(R24.1～健康生きがい支え合い推進部 支え合い協働推進課)

1 予 算 額 41,350千円

2 目 的 近年の都市化の進展やライフスタイル、価値観の多様化などを要因とする地域の“絆力”の低下や少子高齢化の進行に伴う様々な地域課題に対して、区(自治会)やその他の地域団体、地域住民の方々が連携協力し、地域づくりを補完する小学校区の新しいコミュニティ組織として「地域協議会」を創設し、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指します。

3 効 果

- ◆意識高揚 ～誇りと愛着のある地域づくり～
- ◆相互補完 ～相乗効果を生み出す地域づくり～
- ◆課題解決 ～自ら取り組む特性を活かした地域づくり～

4 事業概要

- 地域協議会への財政支援及び人的支援
地域助け合い交付金、市職員による地域パートナー制度など
- 設立に向けた機運の醸成、地域への働きかけ
講演会や勉強会、説明会等の開催など
- 必要に応じた制度の見直し
地域協議会推進市民会議の開催など

地域協議会の設立状況

	小学校区名	設立年月日
1	陶小学校区	平成26年3月2日
2	篠岡小学校区	平成27年4月5日
3	小牧原小学校区	平成28年4月24日
4	大城小学校区	平成29年6月25日
5	本庄小学校区	平成30年2月25日
6	味岡小学校区	平成30年3月24日
7	光ヶ丘小学校区	平成30年11月10日
8	小木小学校区	平成30年11月25日
9	桃ヶ丘小学校区	令和元年6月23日
10	小牧小学校区	令和元年10月26日
11	北里小学校区	令和元年12月7日

地域協議会の主な活動内容

■課題解決事業

防災訓練、高齢者の生活支援活動、通学路の見守り活動等の地域の課題解決に向けて取り組む事業

■交流促進事業

まつり、運動会、コンサート等の地域住民の交流を深めるために学区で取り組む事業



▲学童下校時見守り活動(小牧原)



▲ミュージックフェスティバル(大城)

健康いきいきポイント推進事業

健康福祉部 保健センター

(R24.1～健康生きがい支え合い推進部 保健センター)

1 予算額 8,479千円

2 目的及び効果 市民が健康で明るく楽しい生活を送ることができるよう、健康づくりの習慣と関心を高め、楽しく継続できる環境をつくることにより、生活習慣病の予防を図るとともに、健康寿命の延伸を目指します。



3 事業概要

(1) 健康いきいきポイント

日頃の健康づくりの取り組みや検診の受診、地区の健康展等へ参加することでポイントを付与し、楽しく継続できる健康づくりを促します。

☆ 健康づくりの取り組みにより獲得したポイントは、“あいち健康づくり応援カード(まいか)”や“市内限定商品券”に交換できます。

(2) 子ども版健康いきいきポイント

対象:市内の小学生

夏休みを利用して、健康づくりの基本である食・睡眠・運動・歯みがきに取り組むことでポイントを付与します。また、家族と一緒に取り組むことで、更にポイントを付与し、家庭ぐるみの健康づくりを促します。

☆ チャレンジにより獲得したポイントは、“あいち健康づくり応援カード(まいか)”等に交換できます。

(3) スマートフォン用ウォーキングアプリ「alko」

楽しく継続的にウォーキングに取り組んでもらえるようチャレンジを実施したり、健康づくり情報を配信します。

☆ チャレンジ達成で獲得したポイントは、“市内限定商品券”等と交換できます。



戦略3 「住みたい」「働きたい」「訪れたい」魅力あふれる小牧の創造

持続可能な都市運営とすべての世代にとって快適な生活環境を実現するため、地域振興のバランスを図りつつ、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えに基づいたまちづくりを進めます。

まちの核としての中心市街地の目指すべき将来像や取組みの方向性を示す「ランドデザイン」を描きつつ、中心市街地の魅力とにぎわいを創出するとともに、新たな魅力を備えた暮らしたくなる東部のまちづくりを目指し、「東部振興構想」を策定します。あわせて西部地区についても、道路整備や渋滞緩和などに取り組みます。

また、小牧市の強みであるバランスの良い産業集積を持続的に高め、企業の新事業展開や生産性の向上を支援し、将来にわたって経済・雇用・財政の基盤が確立された活力あるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
小牧市に愛着や誇りを感じている市民の割合	74.9%	↗
名鉄小牧線沿線居住人口	88,704人	↗

<重点事業3-1 中心市街地の魅力とにぎわい創出>

指標名	基準値	目標値(R4年度)
中心市街地の来訪者数	—	75万人

<重点事業3-2 東部地区の振興>

【事業の進捗状況を測定するための指標は設定しません。】

<重点事業3-3 将来を見据えた市内産業力の強化>

指標名	基準値	目標値(R4年度)
こまき新産業振興センターの支援活動を契機に生産性を向上させた企業数	—	20件
生産拠点などの新增設件数	—	10件

＜重点事業3-4 プレミアム商品券による商業振興＞

指標名	基準値	目標値(R4年度)
市内でプレミアム商品券が使える店舗数	569店	現状維持

＜重点事業3-5 小牧市の食や名産品の普及・開発＞

指標名	基準値	目標値(R4年度)
食・名産品の開発件数	0件	3件

小牧駅周辺整備事業

都市政策部 都市整備課

1 予算額 393,885千円
(継続費[令和元・2年度] 758,701千円)

2 目的及び効果 小牧駅周辺において、駅利用者の利便性の向上と市の玄関口としての魅力を高め、賑わいを創出するため、東西の小牧駅前広場や駅東公園などの再整備を進めます。



小牧駅周辺

3 事業概要 令和2年度は、小牧駅西駅前広場の整備工事、小牧駅地下駐車場のエレベーター設置工事、市道小牧駅西線の道路整備工事、歩専1号線の景観整備工事などを進めます。

図書館施設建設事業

教育委員会 図書館
教育委員会事務局 新図書館建設推進室

1 予算額 3,858,322千円

2 目的及び効果 現図書館の老朽化と狭隘化の問題に対応するとともに、利用者の利便性向上を図り、多くの市民に利用していただける滞在型の新図書館を目指します。

3 事業概要

(1) 新図書館開館準備 158,681千円

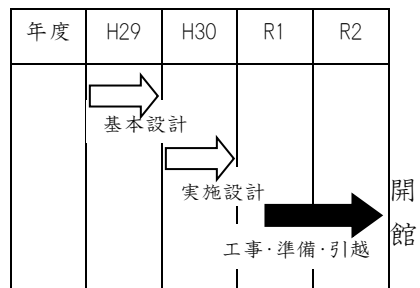
開館に向けた準備として新図書館のICT化に対応した新たな図書館システムの構築や新館用の図書購入を進めると共に、所蔵資料へのICタグの貼付や新図書館への書籍等の移動を行います。

(2) 図書館建設 3,699,641千円

(継続費[令和元年・2年度] 3,500,182千円)※工事費・監理費
令和2年度末の供用開始を目指して建設工事を進めると共に、新図書館に必要な什器等の備品購入を行います。



建設場所:小牧駅西駐車場・にぎわい広場
(中央一丁目234番地外)



建設スケジュール

企業立地推進事業

地域活性化営業部 企業立地推進課

1 予算額 468,018千円

2 目的及び効果 企業立地の推進を図ることにより、地域経済をより豊かにし、雇用力を高め、地域の活性化を図るとともに、財源の確保につなげ、より安定した財政基盤を確立することで、産業都市「小牧」の力を持続的に高めます。

3 事業概要

●小牧市内企業再投資促進補助事業 132,660千円

・愛知県の補助制度と連携し、市内に立地する企業の再投資を支援します。

補助対象	20年以上、市内に立地し工場等を有する企業で、工場、研究所の新增設等を行う企業
対象経費	固定資産取得費用(土地を除く)
補助率	10%以内(県支援分は5%以内)
限度額	10億円(県支援分では5億円)

※ 新增設に伴う、インフラ(道路・水路・水道施設)整備に要する経費の一部を補助する支援制度もあります。



●小牧市企業立地促進補助事業 330,000千円

- ・市内に一定規模以上の工場等を立地する企業に対し、優遇制度として補助金を交付します。

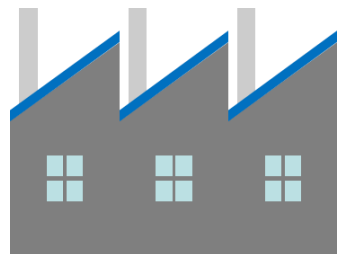
	工場等新增設事業	既存工場等入居事業
補助金の額	新設又は増設した工場等に係る固定資産評価額に8%(市外から又は市内に工場等を20年以上有している企業は12%(いずれか1回に限る))を乗じて得た額以内	工場等に入居をするに伴い新たに取得した構築物、機械及び装置に係る償却資産の固定資産評価額に8%(市外から又は市内に工場等を20年以上有している企業は12%(いずれか1回に限る))を乗じて得た額以内
最高限度額	1億5,000万円	1,500万円

※住・工混在移転、航空宇宙関連、次世代成長産業のいずれかに該当する場合は補助率を2%上乘せします。

●小牧市中小企業環境保全対策設備等導入補助事業 5,000千円

- ・周辺の生活環境を保全する効果が見込まれる「騒音・振動・臭気」を低減する設備の新規導入又は改修等を行う中小企業に対し、補助金を交付します。

補助対象	市内に立地している製造業などの中小企業
対象経費	設備の導入又は改修にかかる費用
補助率	対象経費の50%以内
限度額	500万円



こまき新産業振興センター運営事業

地域活性化営業部 商工振興課

1 予算額 32,200千円

2 目的及び効果 市内の産業力を高めるため、こまき新産業振興センターにおいて、市の施策とリンクした「成長分野への参入促進」「新事業展開の促進」「生産性革命の推進」を3つの柱として市内企業を強かにサポートし、将来を見据えた本市の持続的な産業・雇用・財政の基盤形成を目指します。

3 事業概要 事業の3つの柱を推進するため、成長分野参入では航空宇宙産業マッチング等、新規事業展開では販路開拓・取引先拡大、新規事業立上げ、海外事業展開、新製品開発等、生産性革命では生産・工程管理システム導入、IoTやAIなど新技術の活用、工場現場改善指導等について、専門家が企業を訪問し、支援いたします。

また、市内企業のニーズに対応したセミナーやマッチングイベント等を開催します。



こまき新産業振興センターの役割



成長産業への
参入促進



新事業展開の
促進



生産性革命の
推進

こまきプレミアム商品券発行助成事業

地域活性化化営業部 商工振興課

- 1 予算額 116,000千円
- 2 目的及び効果 小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」に対して補助を行い、市民生活を支援するとともに、地域の身近な店舗である市内の商業者を支援して、地域経済の活性化を図ります。
- 3 事業概要 平成23年度から小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」について、令和2年度においても、身近な中小店舗を支援し、市民が暮らしやすい環境を維持するため総額11億円分のプレミアム商品券を発行して一定の規模で継続します。

え〜なも券



小牧市マスコットキャラクター
「こまき山」

い〜なも券



【小牧発祥】名古屋コーチン
PRキャラクター「こまちゃん」

